

番号	該当箇所	ご意見	回答
1	表紙	ランニングや牛乳煎餅のアイコンを追加してはいかがでしょうか。	修正いたしました。
2	表紙（ビジョン）	ビジョンを「訪れる人が、暮らしやすくなる島、伊豆大島」と掲げ、実現を目指すのであれば、令和7年度に発生している「保育園の待機児童問題（0歳児）」の対策を基本施策に盛り込んでいただけないでしょうか。 P12課題①には、「働く人が暮らしやすいまち」とも記載されていますが、「働く子育て世代」にとって暮らしやすいまちになることがイメージできません。	ご意見いただきました「子育て世帯の暮らしやすさ」につきましては、本計画の上位計画である「第7次大島町基本構想・前期基本計画」にて「子育て支援」を位置付けております。そのため本計画での直接的な言及は控えさせていただきます。
3	4 P（グラフの出典）	図の出典を修正・追記いただけませんか。 1つ目の図に（社人研）とありますが、一度見ただけでは「国立社会保障・人口問題研究所」と認識できない方も多いためと考えられるため。	グラフ下へ追記いたしました。
4	9 P・10 P（来島者なのか観光客なのか）	「来島者」と「観光客」という似た単語が混在していますが、読み手が誤解しないよう、使い分けの意図の補足を追記いただけませんか。一般的には、「来島者」に含まれる属性の1つに「観光客」があるかと思えます。	ビジョン達成のために、すべての人へ魅力を届けたいという思いから、基本的には「来島者」と表記しております。一部文脈上、「観光客」と表記している箇所もございます。
5	10 P	平成27年に「大島-羽田」路線が廃止となったため、とありますが、正しくは「運休」ではないでしょうか。 また、一度見ただけではこの表記が航空機に関するもの、かつ、なぜ運休したのか分からない方もいると考えられるため、補足を記載してはいかがでしょうか。	修正いたしました。
6	10 P	来島目的（男性）によると、「商用」が「釣り+ダイビング+サイクリングの合計」を上回っています。観光事業者（宿や土産物屋）にとって影響の大きい対応すべき重要な結果だと思いますので、本計画においても「商用」の多さに関する考え・方針について言及してはいかがでしょうか。「商用」が観光・アクティビティではないという1点だけで本結果に触れないのは、大島町や観光事業者等の利益を損ねるため。 三宅島では、ビジネスパーソン向けに宿をリニューアルして成功したという事例があります。同宿は、「ビジネス客には、釣りや異なり季節の偏りが少ない、長期滞在するケースが多い等のメリットがあるため、まず客室の一部を1室1名、デスク完備のビジネスルームに改装したところ、公共事業関係者から予約が入るようになった。この部屋を指定して予約が入る。」とのことでした。	基本施策②のリード文冒頭に、「インバウンド観光客や、商用目的など、」を追記いたしました。
7	11 P	【強み】 椿の島として知られるブランド力とありますが、大事な点なので、このように断定された根拠を追記いただけませんか。「国際優秀つばき園 知名度」でGoogle検索すると、AIによる概要として「全国的な知名度は限定的と言えます。」との結果が表示されました。 また、椿油の生産量ランキングでは、長崎の五島と東京の利島がトップを競い合っていることが多いように思います。インバウンドに関しては、(公財) 東京市町村自治調査会の「東京島しょ地域のインバウンド対応の状況」によると、来日外国人旅行者において、東京島しょ地域の認知度は「知らなかった」が64.9%でした。	「椿の島としてのブランド」へ変更いたしました。
8	11 P	【強み】 椿油、焼酎、塩などの離島ならではの豊富な特産品とありますが、「大島ならではの」ではなく、「離島ならではの」との記載は、何を根拠に「離島ならではの」という表現を盛り込まれたか、一見すると分かりませんでした。 また、この部分には伊豆大島ジオパーク認定ブランドの認定各品を記載すべきではないでしょうか。同認定品を記載することで、同「伝え隊」として協力いただいた島内関係者の皆様のシビックプライド醸成にも繋がると思えます。	強みに伊豆大島ジオパーク認定ブランドを列挙いたしました。「離島ならではの」から、「大島ならではの」に修正いたしました。
9	12 P	課題に対する画像と説明書きについて、統一感のある表現にしてはいかがでしょうか。 (課題①) 画像の順番が、説明書き2段落目に出てくるキーワードと連動していません。 画像の順番は左から「交通・住居の整備」、「教育プログラムの実施」、「移住支援」ではいかがでしょうか。 また、画像と説明書きに用いられるキーワードが合っていないので、可能な限り合わせてみるのはいかがでしょうか。	修正いたしました。
10	12 P	課題に対する画像と説明書きについて、統一感のある表現にしてはいかがでしょうか。 (課題②) 他の課題の構成は、先に画像、次に説明書きですが、課題②だけ順番が逆なのは、違和感があります。 また、画像と説明書きに用いられるキーワードがややずれているので、可能な限り合わせてみるのはいかがでしょうか。	修正いたしました。
11	12 P	「受入」・「受入れ」・「受け入れ」の送り仮名の使い方について、統一感のある表現にしてはいかがでしょうか？ (課題②) 【見出し】 来島者の受け入れ環境整備 【説明書き1行目】 受入環境の整備 【説明書き3行目】 受入れ意識向上	動詞形→受け入れ 名詞形→受入れ に修正いたしました。

12	12P	課題に対する画像と説明書きについて、統一感のある表現にはいかがでしょうか。 (課題③) 画像では「アクティビティの充実」とありますが、その下の説明書きには「アクティビティ」という単語が一切でてきません。 画像のタイトルを「新たな観光コンテンツの開発」にはいかがでしょうか。 また、「造成」と「開発」、「アクティビティ」と「コンテンツ」というそれぞれ意味の似た単語が混在していますが、読み手が誤解しないよう、使い分けの意図が明確に伝わるような記述にしていだけないでしょうか。	「整備」は、交通インフラを使える状態にするために整えたり改善したりすることを指します。「維持」は今ある交通インフラを壊れず、安全に使い続けられるよう保つことを指します。「充実」は現在の交通サービスをさらに便利に、豊かにすることを指します。 「増便」と記載することは難しいため、「充実」は別の表現に変更いたします。
13	課題1 2P~1 4P、 基本施策1 7P	一般的に、計画に関する文書は、「課題」と「解決策(本計画では「基本施策」)」がセットで記載されます。 本計画に当てはめると、基本施策6つと、P12~P14に記載の課題6つはそれぞれセットになっていることが前提であり、その方が読み手にとってストレスなく読み進められます。にもかかわらず、基本施策④と課題④がセットになっていないので、修正していただけないでしょうか。1回読んだだけでは基本施策④の内容はどの課題にも基づかない、唐突な登場に思えます。	課題と基本施策がリンクするように修正いたしました。
14	1 3P	新たな交通手段の導入なども検討の余地があります。とありますが、読み手にとってはイメージが湧きにくいので、例示として、神津島村役場が導入した「公共ライドシェア」(令和7年8月4日開始)を追記してはいかがでしょうか。	本町では「地域公共交通活性化協議会」等の場において将来の交通ネットワークの最適化に向けた協議が進められているところですので、具体的な導入名称については記載を控えさせていただきます。
15	17P	基本施策①に観光・産業人材の確保と育成とありますが、活動内容の多くは、「島外からの移住」を念頭に考えられているように見えます。 であるなら、募集しても採用予定数をなかなか確保するのが難しい「地域おこし協力隊」について、他の自治体同様、国の予算措置のみ分のみの最低限の報酬ではなく町予算による上乗せを検討することを盛り込んではいかがでしょうか。	地域おこし協力隊の活用について、基本施策①-6を新たに設定いたしました。付随して、島内の観光人材育成について付記しました。
16	1 8P 基本施策①-1(空き家対策と制限)	空き家活用を進めるにあたり、誰でも無制限に購入・利用できる状況は、地域コミュニティの維持や島の暮らしに影響を及ぼす可能性があります。町として一定のルールや基準を設け、島の文化や生活環境を理解し尊重できる人が関わる仕組みづくりが必要だと考えます。	基本施策①-1に「新規アパート建設」を追加し、あわせて景観条例の整備も追加いたしました。※重点戦略にも加筆しております。
17	1 9P 基本施策②(来島者の利便性とホスピタリティの向上)	観光客にわかりにくい「本日の出帆港」の明示。いつでも見られる体制。具体的には、出帆港が表示された時刻表をYouTubeライブで24時間垂れ流すだけでもOK。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
18	2 0P 基本施策②-7(雨天時プログラムの充実)	天候に左右されず楽しめる施設や体験が限られている点は、観光上の課題の一つだと感じます。 屋内型の文化施設、体験工房、展示施設などの整備・充実について検討を進めていただきたいと思います。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
19	2 0P 基本施策②-2(島内二次交通の拡充)	具体性が無く、島内の業者だよりに見える。これから十年で運転免許を持つ人は確実に減っていくので、24時間オンデマンド自動運転バス/タクシーといった交通に目を向けるべき。島なので特区としてやりやすいはず。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
20	2 0P 基本施策②-2(島内二次交通の拡充)	現状一番の問題は、バスに自転車に乗せられないこと。波浮港にレンタサイクルで行って、帰りは宿近くまでバスで帰れたら利便性は上がるはず。もちろん逆方向でも。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
21	2 0P 基本施策②-4、5	リアルな景観は残しつつ、AR/VR/MRを利用した、サイバー空間での風景解説、歴史解説などを拡充すべき。昔の姿AR再現、解説看板(動画、音声)など。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
22	2 0P 基本施策②-5(観光課施設の老朽化への対応)	郷土資料館については、施設の老朽化や展示内容の更新不足が見受けられます。また、シルバークラブのボランティアに大きく依存している現状では、運営の持続性に課題があると感じます。若い世代を含めた人材の確保、展示デザイン・広報手法の刷新を行うことで、雨天時でも楽しめる重要な観光拠点として再整備することを検討していただきたいと思います。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
23	2 1P 基本施策③-3(ナイトコンテンツ)	伊豆大島は「東京から最も近い島」という地理的優位性を有していますが、星空観察会や夜光虫観察といったナイトコンテンツについては、十分に認知されていないと感じます。短期滞在でも非日常を体験できる魅力として、より積極的な情報発信および企画の充実を求めます。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
24	2 0P、2 7P	戦略的重点施策の活動内容の記載順について、基本施策の記載順と合わせていただいた方が読みやすいかと思いますが、いかがでしょうか。 (例) <基本施策②> ②-3Wi-Fi環境の整備 ②-5施設老朽化の改善と景観整備 ↑(記載順が逆) <戦略的重点施策②> 施設老朽化の改善と景観整備 Wi-Fi環境の整備	修正いたしました。
25	2 2P 基本施策④-2(ロケツーリズム)	フィルムコミッションの設立は(10年遅いが)いいとして、ロケーション誘致後の聖地巡礼ツーリズムが本番とこころえ、その対応が出来る体制を作る。観光客が観光協会へ行って、作品名を言ったら、さっと聖地巡礼用ロケーション地図が出てくるように。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。

26	2 2 P 基本施策④（歴史の活用）	伊豆諸島および伊豆地域は、古代において海洋民族文化の重要な拠点であったとされています。 こうした歴史的背景をテーマとした解説プログラムやツアーなども整備することで、他地域にはない独自性の高い文化観光資源として活用できると考えます。	23P 基本施策④ 地域資源の中に「歴史」を追加いたしました。
27	2 2 P 基本施策④（自然環境保全）	本計画では自然環境の保全を観光施策の重要な柱として位置づけていますが、サクユリやウミガメの保護、ならびにヘビやクワガタ等の捕獲・売買に対する規制や取り締まりについては、十分とは言えない現状があると感じます。自然を主要な観光資源として活用するのであれば、保護活動に対する具体的な予算措置、支援制度、監視体制の強化など、実効性を伴う施策を明確に示すことが重要であり、理念と現状との整合を図る取り組みを求めます。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
28	2 2 P 基本施策④（海洋体験プログラムの充実）	伊豆大島の大きな魅力である海を活かし、マリンスポーツ、釣り体験、漁業体験など、より多様な海洋体験型プログラムの充実を図ることが望まれます。 「見る観光」から「体験する観光」への転換は、観光客の満足度向上や滞在時間の延長にも寄与すると考えます。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
29	2 3 P 基本施策④-6（地域資源に触れる機会）	住民と観光客の対話用の目印（式根島のみでたいしール等）を作って、話しかけやすくする。住民側も話してもいいよしールなどでウェルカムの姿勢を示す。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
30	2 3 P 基本施策④-6（観光客と島民の交流）	「訪れる人が暮らしたくなる島」を目指すのであれば、観光客と地元住民が自然に交流できるイベントや場づくりが重要であると考えます。一方的に消費される観光ではなく、人と人との関係性が生まれる仕組みづくりを期待します。	23P 基本施策④-6 地域資源の中に「人」を追加いたしました。
31	2 3 P 基本施策④-6（観光イベント）	椿まつりをはじめとする観光イベントにおいて、ミス大島や椿の女王の選出条件として年齢制限や未婚条件が設けられている点については、現代社会における多様な価値観との間に乖離があるように感じます。 観光振興を目的とするイベントであることを踏まえ、性別・年齢・婚姻状況等にとられない、より開かれた制度へと見直すことが、結果として島のイメージ向上や参加意欲の喚起につながるのではないのでしょうか。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
32	2 3 P 観光施策④-6（あんこさんの衣装）	観光向けに現代的にアレンジされたあんこ衣装ではなく、伝統的な生地や意匠を用いた本来の姿の衣装を復刻・活用することを提案します。現在、あんこ保存協会の方が継承・着用されている衣装は文化的価値が高く、こうした真正性を重視した表現の方が、文化観光としての魅力向上につながるかと考えます。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
33	2 6 P 基本施策⑥（観光ポスターのデザイン）	伊豆大島の観光ポスターや冊子に使用されている写真およびキャッチコピーについて、島の魅力が十分に伝わっていないと感じる部分があります。特に、古い写真の使用や訴求力に乏しい表現は、観光地としての第一印象に影響を与える可能性があります。 一方で、ジオノス等に掲示されていた昭和期の伊豆大島観光ポスターには、視認性やメッセージ性に優れ、島の魅力を端的に伝えている好例が見られました。こうした過去の優良事例を調査・分析し、復刻や現代的な再解釈を行うなど、ビジュアル戦略全体の見直しを検討していただきたいと思います。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
34	3 8 P（推進体制）	本計画を協力的に推進するため、推進体制（主な関係者）に（公財）東京観光財団を追記いただけませんか。	（公財）東京観光財団につきましては、直接的なプレイヤーとなり得ないため、追記しない判断といたしました。
35	43P	唐突にDMOとの連携の話が出てきましたが、現状、大島町を含めたDMOの存在をインターネット上で確認できませんでした。 既存の商工会や観光協会などとの連携強化が優先かと思っておりますので、まだ存在していないDMOとの連携を盛り込むのは見送るべきではないでしょうか。 DMOについては「観光庁の補助金が欲しくて立ち上がった組織」、「補助金頼みDMOに要注意」といった言葉もネット上で散見されるので、丁寧な議論が求められます。	本計画策定にあたり、外部有識者や事業者等で構成される「大島町観光総合計画策定検討委員会」においてその必要性が審議されてまいりました。現時点では組織のあり方を検討している段階ではありますが、持続可能な組織体制の構築を目指して参ります。
36	全体	本計画を理解するための基本事項として、本計画に掲げる各施策に必要な費用・人員を概算で良いので追記いただけませんか。 また、島民が大島町の観光施策を理解するため、「トライアスロン・椿の女王コンテストの中止」、「カメラマラソン有料化検討」といった重要事項の理由を追記いただけませんか。	具体的なリソースにつきましては、数値を伴う掲載が難しい状況です。また、イベントの中止理由につきましても、観光総合計画において取り扱う内容ではないと判断いたしました。
37	全体	観光総合計画の内容について、きちんとした根拠に基づいた内容とするため、島内の観光施設の年間利用者数や主なイベントの参加者数について、直近3～5年程度、追記していただけないでしょうか。	イベントや施設利用者数等については、過去5年間において新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や規模縮小の影響があり、統計的な連続性や客観性を確保するには適当ではないと判断いたしました。
38	全体	本計画の全体を通じて「子育て世代」の視点が抜け落ちているため、本計画のビジョン「訪れる人が、暮らしたくなる島、伊豆大島」のうち、子育て世代で大島を訪れる人についてはビジョンの対象外に見えますが、そうした理解で間違いはないのでしょうか。 関連して、近年、子供に本物の体験をさせたいという「旅育」に注目が集まっています。観光庁が令和7年5月に発行した「子育て世代も参加可能な業務型ワーケーションナレッジ集」も参考にいただければと思います。 また、島内で機運が高まっているとは言えないインバウンド対策に焦点を絞って人員・税金を投入するよりも、人口1億人を超える日本国（世界の人口ランキング11位/193か国中）として、まずは国内旅行の観光客をしっかりと大島に呼び込む努力を行うのが優先かと思いがいかなるでしょうか。 実際に、デフリンピック開催や海外のクルーズ客船の来島などの際においても、興味・関心の薄い島民の方が多いと感じております。	「旅育」につきましては基本施策④-4、「ワーケーション」につきましては基本施策③-1に包含されています。インバウンド誘客につきましては、今後外せないターゲットであり、島内の機運醸成を高めるためにも取り組むべき課題であると認識しております。 また、並行して国内からの誘客にも注力いたします。

39	その他	一見さんの観光客以外の、リピーターになるべき旅行者への優遇（自転車、ダイビング、釣りにクーポン等を配る等）	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
40	その他	コスプレの撮影を可能にする。遊漁券の様に、コスプレ券を購入すれば、一定の地域（裏砂漠、みなとや、廃校、波浮港の町並み、地層断面前）で撮影可能にする。撮影場所の近くには、簡易更衣室等を用意する。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
41	その他	三原山から下まで、世界一長いジップラインを作り、観光の目玉にする。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。
42	その他	三原山火口の3DCG内を自由に飛び回るVR体験。なんなら、噴火の様子も再現する。	具体的アイデアとして別途アクションプラン等で検討いたします。